

**製品名: GABAA R $\beta$ 2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11237**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	GABRB2
別名	GABRB2; Gamma-aminobutyric acid receptor subunit beta-2; GABA(A) receptor subunit beta-2
遺伝子 ID	2561.0
SwissProt ID	P47870
免疫原	抗血清はヒト GABAA Rbeta2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 382-431

**背景**

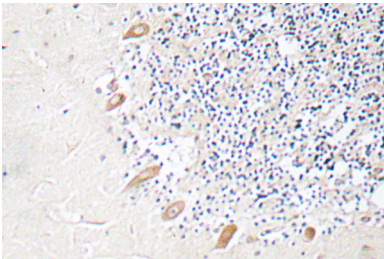
$\gamma$ -アミノ酪酸 (GABA) A 受容体は、中枢神経系において最も速い抑制性シナプス伝達を媒介する、多サブユニット塩化物チャネルで

す。この遺伝子は GABA A 受容体の  $\beta 2$  サブユニットをコードしています。この遺伝子は、GABA A 受容体の  $\alpha 1$  サブユニットと  $\gamma 2$  サブユニットをコードする遺伝子群からなるクラスター内の染色体 5q34 にマッピングされています。この遺伝子の選択的スプライシングにより、114 bp の挿入によって異なる 2 つの転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: 脊椎動物の脳における主要な抑制性神経伝達物質である GABA は、GABA/ベンゾジアゼピン受容体に結合し、必須塩素チャンネルを開口することで神経抑制を媒介する。、オンライン情報: Forbidden fruit - 2005 年 3 月号 第 56 号、類似性: リガンド依存性イオンチャンネル (TC 1.A.9) ファミリーに属する。、サブユニット: 通常は 5 量体。GABA(A)受容体鎖には、 $\alpha$ 、 $\beta$ 、 $\gamma$ 、 $\delta$ 、 $\rho$  の 5 種類がある。UBQLN1 に結合する。、

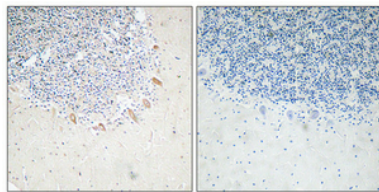
## 研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト脳組織における GABAA R $\beta 2$  抗体の免疫組織化学分析。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。